



山王中だより

学校教育目標 未来を見つめ自ら行動する生徒～夢の実現へ～

令和2年8月18日
第7号
校長 土屋 孝夫
相談室 2957-4968

「伝統という名のタスキ」をつなごう

1

学期の終業にあたり「もう終わるのか」との個人的な思いを書きましたが、今日の2学期始業は、恐らく一人の例外もなく「(もう始まるのか)？」という思いであると想像しています(2乗どころではない?)。暦の上では立秋を迎えて10日ほどになりますが、残暑が本当に厳しいですね。「残暑」という言葉そのものに違和感を覚える本格的な盛りの暑さです。

コロナ対策にあわせて、熱中症対策にも十分留意しながら、本格的な秋の到来を待ちたいものです。

さて、学校の1年間を農作業に例えると、1学期は田起こしや苗づくり、2学期は栽培から収穫期、3学期は出荷から翌年へ向けての土づくりであると言えます。2学期は農産物にとっては実りに向けて最も成長していく段階であり、学習活動や学級・生徒会活動のほか各種行事などが最も充実した時期にあたります。

ところで1学期に3年生のある生徒と話をする機会がありました。その際山王中の誇れることは何ですか?と尋ねると、その生徒は「合唱です」と答えてくれました。また、来年度の教育実習を申し込みに来た卒業生との面談の中でも母校山王中の誇りは「合唱です」と返ってきました。本校の合唱は時を超えた誇りとして「伝統」になっています。伝統は日々の真摯な取り組みが蓄積されて築かれるものですが、残念ながらコロナの関係で思うような活動ができなくなっています。しかし合唱は、仲間との信頼関係や学級・学年・学校に対する愛着などの精神的なものが土台になれば心を動かすものにはなりません。歌そのものの練習は思うようになかなかできなくとも、仲間との信頼関係や学級や学校への愛着を深めることは日々の生活の中で十分に可能ですし、その中でこそ深められるものです。

ぜひ今こそ1学期の終業式でも話した、日常の「凡事徹底」で、信頼関係や愛着を一層深められる山王中を造っていきましょう。コロナの不自由さを逆手にとって、凡事徹底を本校の強みにしていきましょう。そのことで、合唱の土台ともいえる精神的な結びつきを確かなものにするので、先輩方から託された「伝統という名のタスキ」をつないでいくことができるのではないのでしょうか。そんな実りに向けての成長がある2学期にしていきたいと思います。

凡事徹底…イエローハットの創業者の鍵山秀三郎さんの言葉。同名の本の副題には「平凡を非凡に努める」とある。当たり前前を当たり前前にするのではなく、「当たり前前を人一倍こだわりを持って一生懸命やる」という意味。私は学校生活には3つの凡事があると考えています。すなわち、①時間 ②清掃 ③挨拶 です。つまり時間前着席・行動ができること、1日わずか15分間の清掃活動を心を込めて集中してできること、自分から気持ちのいい挨拶ができること。そんな生徒集団であれば、安心して落ち着いてみんなが生活できるし、安心や落ち着きが土台があれば、心を開いて思い切り歌も歌えるのだと思っています。

コロナ禍の夏休み中に考えたこと

連 日のように国内で1000人、都内で200人超、県内でも数十人の新規感染者の発表が続いています。感染源を特定できない人や家庭内感染が多くなっています。このような中、右のニュース記事を見ました。決して他人事ではないと考えました。特に「個人を特定しようと探ること」。その先には恐らく「SNSなどを通じてうわさが拡散し独り歩きすること」があり、「落ち度を指摘し誹謗中傷すること」「差別や偏見の目で見ること」が待っているような気がしてなりません。一番つらい思いをしているのは、本人と家族です。そこに思いが馳せられれば、病に苦しんでいる人をそれ以上に苦しめることはないはずです。

※ 北九州市が作成した30秒の動画があります。お時間があればどうぞご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=bASM_2fWOPk



浦添市内の小学校で新型コロナウイルスのクラスター(感染者集団)が発生したことを受け、浦添市教育委員会には「どこの小学校なのか」「何年生か」など、感染者の情報を聞きだそうとする外部からの電話が複数あるという。市教委では「学校や個人の特定につながる情報は明かさない」として応じていない。7日の記者会見で當間正和教育長は「感染者はみんな被害者と考えている。人権を守っていくことが必要だ」と話し、感染者への差別がないよう呼び掛けた。(中略)

同校の保護者の男性は「感染した先生や子どもたちは悪くない」と断言する。一方で「子どもたちは感染者に対して『お前のせい』と言ってしまうこともあるかもしれない」と影響を懸念した。「自粛生活でストレスをためた子どももいる。再開後は児童の心のケアに力を入れてほしい」と学校に求めた。

8月13日 琉球新報WEB版より

2 学期の主な行事について

体育祭 9/19 (土)
団の組み合わせ・スローガン決まる

	赤団	青団	黄団
3年	1組	3組	2組
2年	3組	1組	2組
1年	2組	1組	3組

スローガン「心と絆を結ぶ体育祭～我らの青春ここにあり～」

コロナウイルス感染症対策等により、組体操・ダンスを割愛するなど規模を縮小して実施する予定です。またご参観は保護者(各家庭原則1名)のみとさせていただきます、ご来賓や敬老会はお招きしません。詳細については、別に配布するご案内通知をご覧ください。

合唱祭 10/21 (水)

現時点では、例年と同じように狭山市市民会館で実施する予定で考えています。なお市民会館は、定員の50%以下(約700席)であれば使用を認めています。本校は生徒・教職員合計350名程度であり、定員の約25%なので十分許容範囲に入ります。ただし、次のような感染防止策をとりますので、ご承知おきください。詳細については、改めて通知いたします。

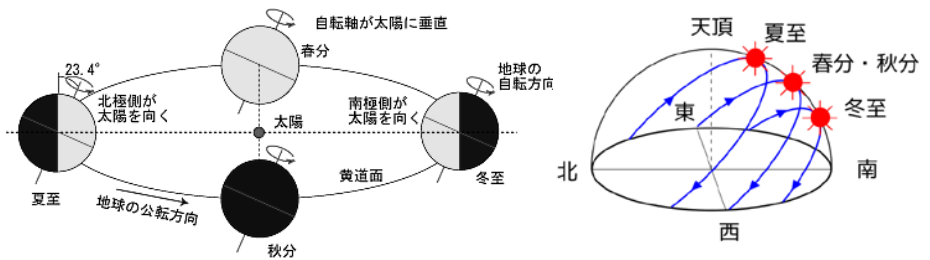
- 全校合唱は行いません
- 学年合唱は客席で実施します
- 時短のために開閉会式を簡略化します
- 昼食前(12:30)には閉会・解散します
- 保護者の参観は該当学年の発表時のみでお願いします

修学旅行 10/25 (日)～27 (火)

3年生保護者の皆様におかれましては、意向調査のご提出ありがとうございました。ご家庭でも様々な葛藤があった中での「参加」あるいは「不参加」ということではないのかと推察されますが、あくまでも7月時点での意向ですので、今後お考えが変わることがあっても構いません。高止まりの感染状況の中、中止を表明している自治体が出てきています。一方で多くの生徒が楽しみにしているのも事実です。いずれにせよ大変悩ましい判断になることは必然ですが、今後の感染状況等を見ながら、関係機関と連携をとり実施の可否を判断していくつもりです。

☕ コーヒータイム

【問題】図のように地球は地軸が約23度傾いた状態で太陽の周りを公転していることから、中緯度地域の日本では四季が見られます。では、太陽が最も高い角度から当たり、当たっている時間(昼の時間)も最も長い「夏至」(6月下旬)頃が1年で一番暑くなりそうな気がしますが、実際は夏至より2カ月近く遅い8月が最も暑くなるのはなぜでしょうか。(答えは欄外に)



今後の状況によって変更することがありえますので、あらかじめご了承ください。特に体育祭前は、天候によって急な時間割の変更もあります。

日	月	火	水	木	金	土
下校時刻	18:00	1	2	3	4	5
9/15から	17:30	結団式	眼科健診 家庭学習の日	12345 火 4	3年4市テスト	
9/28から	17:00					
6	7	8	9	10	11	12
			家庭学習の日	12345 月 3		除草作業 PTA 運営委員会
13	14	15	16	17	18	19
		12346 金 4	12345 月 5 家庭学習の日	53 練練予行	1234 体育祭準備	体育祭 雨天休み
20	21	22	23	24	25	26
体育祭予備① 雨天休み	敬老の日	秋分の日	体育祭予備②	12345	2時間授業 新人県民大会市予選	新人県民大会市予選
27	28	29	30	10/1		
	教育実習開始	生徒会選挙公示	集金日 家庭学習の日			

毎日の健康観察表への記入をお願いします。

自転車の一時停止の徹底とヘルメットの正し装着を



様々な理由があるが、①海水や大気の上昇が夏至から約1、2ヶ月遅れてピークを迎えるから(たとえばストーブを点火しても部屋がすぐには暖まらないのと同じで時間差が生じる)。②太平洋高気圧が日本列島方面へ張り出し赤道方面から吹き付ける南東季節風が顕著になるのが、7～8月になるから。③夏至の頃は梅雨に当たるため雨の日が多いので直射日光が当たる時間が少ないから。など